

下面装着及び吊下型外装部品の

— 取付や保持に関する要注意事項 —

まずは『中央道の天井板崩落事故』を思い出してください。
絶対落ちないと思っていても落ちる可能性はあります。

下記は当店製品に限らず、またアンダーパネルやディフューザーだけでなく、
後付け外装品全般に該当する内容です。

特に汎用向け製品や他車種品流用には確立した装着方法が存在しません。
脱落品により歩行者や後続車、対向車に危害が及ぶ可能性は過大です。

※タッピングビスのみでの装着は絶対に回避を

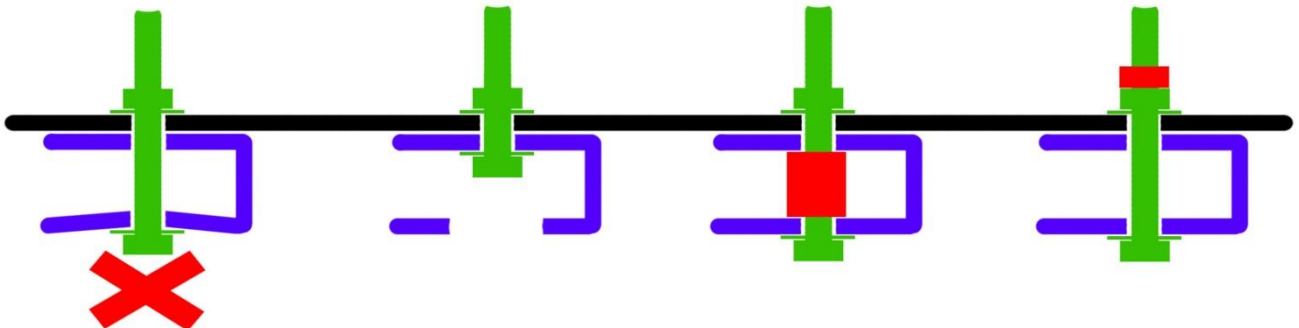
タッピングビスはあくまでも固定補佐の目的に過ぎません。
特に座面が金属でない場合は、ねじ山が簡易的であるため、強度、耐久性に欠けます。
その上、タッピングビスは引き抜き方向に弱いため、重力に反する方向で(天井に向かって)固定された場合は、細いビス自体に装着物の荷重がかかり、脱落の可能性が広がります。

装着物の重量や風圧、振動、更に積雪等の可能性等を考慮し、数箇所は必ずボルトナットで固定し、
場合によっては大きめのワッシャーや当て板、ブラケット等を併用し確実に装着してください。

※中空品を固定する場合は対策を

外装品のみに限らず、ネジ止め物すべてに該当する注意事項です。
中空品を片側からネジ締めしていくと、中空物が変形し止め処なく締まっていきます。
『程よい加減?』で止めた場合、完全に締まっていないため、徐々に緩んでしまいます。
必ず、絶対に緩まないための対策をしてください。

例： 2段目まで貫通させる、スペーサーを挟む、ダブルナットをかける等々、、、



特にアンダーパネルやディフューザー等は、定期的に破損や経年劣化の確認をしてください。
また、同機会に他の装着品も確認して頂くことをお勧めいたします。